

留 学 報 告 書

記入日:2017年3月23日

所属学部／研究科・学科／専攻	国際日本学部国際日本学科
留学先国	アメリカ合衆国
留学先高等教育機関名 (和文及び現地言語)	和文: ショアラインコミュニティーカレッジ 現地言語: Shoreline Community College
留学期間	2016年9月～2017年3月
留学した時の学年	2年生(渡航した時の学年)
留学先での学年	1年生(留学先大学で在籍した学年)
留学先での所属学部等	<input checked="" type="checkbox"/> 特定の学部等に所属しなかった。
帰国年月日	2017年4月5日
明治大学卒業予定年	2019年3月

留学費用項目	現地通貨 (US\$)	円	備考
授業料	7,000	770,000円	
宿舍費	4,200	462,000円	
食費	1,400	154,000円	
渡航旅費	1,200	132,000円	
その他	2,000	220,000円	
合計	15,800	1,738,000円	

滞在形態関連	
1)種類(留学中の滞在先)(例:アパート, 大学の宿舎など)	
	アパート、ホームステイ、友達の家
2)部屋の形態	
	<input checked="" type="checkbox"/> 個室 OR <input checked="" type="checkbox"/> 相部屋(同居人数1)
3)住居を探した方法:	
	Homestay Finder, 友達
4)感想:(滞在先の感想とこれから留学する人のためのアドバイス)	
	食費、電気代、インターネット使用料等自分で考えた上、アパート、ホームステイ(すべて込み)かを自分で良く考える。
現地情報	
1)現地で病院にかかったことはありますか? 大学内の医務室/診療所や付属病院等で医療サービスを受けることは可能でしたか?	
	<input checked="" type="checkbox"/> 利用する機会が無かった <input type="checkbox"/> 利用した:
2)学内外で問題があったときには誰に相談しましたか。留学先大学に相談窓口はありましたか。	
	無し
3)現地の危険地域情報をどのように収集し、どのような防犯対策をしましたか。また、実際に盗難等を含む犯罪に巻き込まれたことはありますか? その際どのように対処しましたか?	
	貴重品は出来るだけ持ち歩かない。
4)パソコン、携帯電話、インターネット(接続について)現地での利用はいかがでしたか。(例:寮のインターネット接続が不安定で1週間に1度は全く繋がらない時がある。街にあるほとんどのカフェではWiFi接続が可能であったので、寮で使用できない時はカフェに行った。)	
	ダウンタウンエリアのほとんどのお店でインターネット接続可能。
5)現地での資金調達はどうに行いましたか?(例:現地に銀行口座を開設して日本の親から送金してもらった。銀行口座は現地で外国人登録をしないと開設できない。また、クレジットカードも併用していた。)	
	Bank of Americaにて口座を開設し、日本から送金してもらった。
6)現地では調達できない日本から持っていくべき物があれば教えてください。	
	特になし。
7)授業料の支払方法、支払時期等について教えてください。(例:渡航前に自分で指定したクレジットカードで支払った、現地で開設した銀行のチェックで支払った、渡航前に留学先大学から指示があった、渡航後のオリエンテーションで支払いに関する案内があった等)	
	デビットカード、クレジットカード、現金、どのような形態でも可能。
卒業後の進路について	
留学を通して生じた、今後の進路についての考えについて教えてください。	
	もともと、航空関係で働きたいと考えておりその考えが一層強まった。就職活動ではANA、JALの自社養成パイロットを受ける予定。

学習・研究活動についてのレポート(履修した科目ごとに記入してください)

1)留学先で取得した単位数合計	本学で認定された単位数合計 ※該当項目にチェックのうえ、記入して下さい。
27単位	<input checked="" type="checkbox"/> (未定) <input type="checkbox"/> 単位認定の申請はしません(理由:)
2)以下は留学先で履修した科目についてのレポートです。今後留学をする人たちへのアドバイスも含めてお書き下さい。	

履修した授業科目名(留学先大学言語):	履修した授業科目名(日本語):
Business	ビジネス
科目設置学部・研究科	
履修期間	2016 秋学期
単位数	5
本学での単位認定状況	(未定)単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	講義形式(チュートリアル, 講義形式等)
授業時間数	1週間に50分が4回
担当教授	Win Tse
授業内容	ビジネスの基本的知識
試験・課題など	中間、期末試験 オンラインでの課題
感想を自由記入	オンラインでの課題、予習など時間がかかる

履修した授業科目名(留学先大学言語):	履修した授業科目名(日本語):
English	英語
科目設置学部・研究科	
履修期間	2016 秋学期
単位数	5
本学での単位認定状況	(未定)単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	講義形式(チュートリアル, 講義形式等)
授業時間数	1週間に50分が5回
担当教授	David
授業内容	エッセイの書き方を中心に授業を展開
試験・課題など	3つ大きなエッセイを中間、期末考査の代わりに仕上げる
感想を自由記入	週末にショートエッセイ、アイデアの模索など、様々な課題が出される

履修した授業科目名(留学先大学言語):	履修した授業科目名(日本語):
International Studies	
科目設置学部・研究科	
履修期間	2016 秋学期
単位数	5
本学での単位認定状況	(未定)単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)

授業形態	講義形式(チュートリアル, 講義形式等)
授業時間数	1週間に50分が5回
担当教授	Chip dod
授業内容	グローバル化を様々な視点から考察
試験・課題など	毎週金曜日にディスカッション、中間考査、期末考査がある
感想を自由記入	課題、授業で求められる質がとても高く、英語力に自信があればぜひチャレンジしていただきたい

履修した授業科目名(留学先大学言語):	履修した授業科目名(日本語):
Public Speaking	パブリックスピーキング
科目設置学部・研究科	
履修期間	2016 冬学期
単位数	5
本学での単位認定状況	(未定)単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	講義形式(チュートリアル, 講義形式等)
授業時間数	1週間に50分が4回
担当教授	Munsell, H
授業内容	実際に多くのプレゼンを行うことで、プレゼンの仕方について理解を深める
試験・課題など	3つ大きなプレゼンを中間、期末考査の代わりに行う
感想を自由記入	プレゼンを通して、学んだことの理解が深められる

履修した授業科目名(留学先大学言語):	履修した授業科目名(日本語):
Introduction to Communication	コミュニケーション学
科目設置学部・研究科	
履修期間	2016 冬学期
単位数	5
本学での単位認定状況	(未定)単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	講義形式(チュートリアル, 講義形式等)
授業時間数	1週間に50分が4回
担当教授	Esquibel, E
授業内容	コミュニケーション理論について
試験・課題など	中間、期末考査に加え、多くのプレゼンテーションを行う
感想を自由記入	最後に皆で学んだことを踏まえ、フラッシュモブを行った

履修した授業科目名(留学先大学言語):	履修した授業科目名(日本語):
Business	ビジネス
科目設置学部・研究科	
履修期間	2016 冬学期
単位数	2
本学での単位認定状況	(未定)単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	講義形式(チュートリアル, 講義形式等)

授業時間数	1週間に50分が1回
担当教授	Starr, M
授業内容	職場においてどのように良好な人間関係を築いていくかについて
試験・課題など	中間、期末考査の代わりに4つの小テスト
感想を自由記入	授業中のディスカッションを通して理解を深められる

留学に関するタイムチャート

留学するまでの準備, 試験勉強, 留学中, 留学後, 特に留学に関連して発生した事項を記入してください。例: 語学試験の勉強, 選考, 出願, 留学中の中間試験, 期末試験, その他イベント等

2015年 1月～3月	
4月～7月	
8月～9月	
10月～12月	TOEFL iBT テスト2回受験
2016年 1月～3月	留学面接 明治大学にて
4月～7月	ビザ面接 アメリカ大使館にて
8月～9月	ホームステイ先をウェブサイトにて検討
10月～12月	ホームステイ先から友達の家に移り越し 中間考査
2017年 1月～3月	期末考査、中間考査、期末考査 冬休み 友達の家から新たなホームステイ先に戻る
4月～7月	帰国に向けて明治大学の書類を整理
8月～9月	
10月～12月	

留学体験記

留学しようと決めた理由	明治大学国際日本学部の協定校が増え、その中でもコミュニティカレッジが特に増えたことが、留学をしようと決めた主な理由です。初めは留学費用が高いとの事で、断念していました。しかし、コミュニティカレッジはアメリカの4年制と比べ授業料が安く、新たなオプションのおかげで、留学が自分にとって可能なものとなりました。また、昔アメリカに多く渡航していた経験があり、留学を通して、英語だけでなくアメリカ文化をより深く学びたいと考えたのも理由の1つです。
留学のためにした準備、しておけば良かったと思う準備	第一に、英語力を全般的に向上させることです。アメリカの授業では、予習は当たり前、そして学生教授間で多くのインタラクションがあり、高度なリーディング、リスニング、スピーキング、そしてコミュニケーション能力が必要となります。上に挙げた、どれか1つが欠如した状態では、満足のいく学校生活はほぼ理想で終わってしまいます。そして、アメリカでは専攻をよく聞かれるので、国際日本学部の数ある授業の中から、自分が特に重きを置いているものを答えられるようにしておくといはいいです。
この留学先を選んだ理由	もともと、将来航空関係の仕事に就きたいと考えており、留学先であるワシントン州はボーイング社、アラスカン航空を代表とする、大きな航空会社のベースがあることが主な理由です。実際、ワシントン州に住んでいる多くの人々が航空産業に関わっており、イベントなどを通して、貴重なお話をたくさん聞くことができました。もちろん大学ではそのような授業はありませんが、大学以外のところに様々な良い機会がありました。
大学・学生の雰囲気	ショアラインコミュニティカレッジには、多くの留学生在籍しており、定期的に多文化交流会などが催されます。また、日本人生徒数が非常に少なく、英語を話す機会が多くあると思います。しかしながら、多くの留學生は現地学生と関わりを持つことがほとんどなく、壁が感じられました。ショアラインにいるほとんどの生徒が4年制大学への編入を考えており、学業にとっても熱心に取り組んでいます。
寮の雰囲気	留学中は、自分の友達と2回の引っ越しを経験しました。主にホームステイでしたが、部屋を一緒に共有する形で、少し特殊なケースだと思います。部屋を共有しているだけあって、学校から帰ると、一緒に出掛けたり、料理をしたりなど、一番時を共有したのがルームメイトです。台湾出身の学生でアメリカでの生活も長く、彼からは多くのことを学びました。
交友関係	留学当初は、大学でのガイダンス、イベントなどを利用して交友関係を広げました。また、週末にワシントン大学のパーティーに参加したり、自分でパーティーを主催して、より多くの友達を作りました。また、冬休みにはアメリカの主要都市をすべて周り、多くの人に話しかけ、一緒に旅をしたりするなど、自分にとってとても貴重な経験となりました。
困ったこと、大変だったこと	冬休みの間、多くの場所を旅行するために、12便のフライトを同時に予約した際、大きなトラブルがありました。当時、Bank of America を利用しており、その銀行のデビットカードを使用した際、銀行側が自分を犯罪者と判断し、銀行のすべての口座がすべて閉鎖されてしまいました。その後、身分証明書、ビザなどを持参し、銀行の支店に行き状況を説明し無事解決しました。しかしながら、また口座を開設するには少し時間がかかるらしく、カード文化が浸透しているアメリカで現金を使う日々が少々長引きました。
学習内容・勉強について	ショアラインコミュニティカレッジでは、主にビジネスを勉強しておりました。講義を通して、アメリカのビジネススタイル、ビジネスにおける基本的な知識を学習しました。また、航空系の科目はショアラインコミュニティカレッジでは専攻できなかったため、ボーイング社に直接行ったり、イベントを通して、デルタ航空、アラスカン航空、ANA のパイロット、CA、総合職の方々とのコネクションを作り、休日に空港に連れてってもらったりするなど、貴重な経験をさせて頂きました。
課題・試験について	課題が多くありました。オンラインで提出するものがほとんどで、授業後おおよそ1時間から2時間ほどかかる量の課題が出されました。また課題に合わせ、予習も必要となるため、授業の準備として教科書を読む量がとても膨大でした。中間、期末考査は大きく分けてオンラインで受けるものと、学校で受けるものの2パターンありました。また、授業によっては、中間、期末プレゼンテーションが設けられている授業もありました。

大学外の活動について	SDA AIRLINE という、将来航空業界で働くことを目標としている人たちが集まるグループに参加し、2週間に1回のペースで集まり、実際に航空業界で働く人々に講演会をしていただくなど、様々なイベントを企画しました。そして実際に個人でも、BOEINGの会社を訪れ、パイロットの方々やエンジニアの方々と、コネクションを作り、様々な情報を集めました。
留学を志す人へ 「これを知っておいて欲しい」と思うこと、アドバイス等	留学中よく、同じ国出身の人たちで留学中のほとんどの時を過ごしている学生を目にしました。自分にとっては、なぜその人たちが留学しているのか疑問を抱く時が多々ありました。アメリカにも日本人留学生がおり、自分の友達を含め、多くの留学生が母国語を使っておりました。せっかく高いお金を払ってわざわざ海外に勉強しに行くため、なぜ自分が留学しているのかなど、きちんと目標を明確にして留学生活を送ってもらいたいです。

一週間のスケジュール(例)

	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日	土曜日	日曜日
午前中	授業	授業	授業	授業	授業		
	授業	授業	授業	授業	授業		
午後	授業	授業	授業	授業	授業	SDA 課外活動	予習課題
							予習課題
夕刻							予習課題
夜	予習課題	予習課題	予習課題	予習課題	パーティー		